

【支部だより】

## 山陰支部 総会 開催報告

宮原 善徳(短3回生)

12年ぶりの日本三大船神事(ホーランエンヤ)で沸いた水の都、島根県松江市で学友会山陰支部総会が多忙のなか24名の会員が出席し盛大に開催された。総会に先立ち、島津製作所の塩見先生より『FPD搭載装置の動向と最新アプリケーションについて』講演を頂き、活発な質疑などもあり非常に有意義でした。

総会では、物故者への黙祷後、学友会の埜藤会長、京都医療科学大学の高橋学長から近況報告があった。景気の落ち込みや、少子化時代における大学運営の難しさをお聞きし、山陰支部としても可能な限りの協力を約束した。8年ぶりの役員改正では、新支部長として磯田氏(55回)、評議員として小西氏(短1回)、通信員として古川氏(短8回)が満場一致で選任された。この8年間を振り返ると、3回の支部総会を開催し、多くの先生方や先輩、後輩、島津製作所の方々と親交をもつことができたことを感謝いたします。

懇親会ではお酒もすすみ、緊張の糸がだんだん融けて『京都の伝統』感を漂わせ、マイクを片手にそれぞれ独演会となった。2次会も全員出席という想定外の事態に幹事も慌てふためいた。途中、泥酔状態に陥った若者達の介護をしてくれた唯一の女性(学生)、小玉さんに御礼と、その若者達に猛省をお願いしておきます。色々ありましたが、無事に会を終えることができ、多くの会員の出席を賜り、楽しい夜を過ごすことができました。また、次回お会いできることを楽しみにしております。最後に、講演およびご協賛いただいた島津製作所の方々に感謝申し上げます。



以上

\*通巻193号 2009年10月1日発行(H21 - No.3)より